

岡田大使 着任1周年を迎えてのご挨拶

昨年の8月29日に教皇フランチェスコ台下に信任状を奉呈し、駐バチカン大使としての公務を本格的に開始してから1年を迎えました。世界的なコロナウィルスの蔓延という未曾有の事態の中で着任し、振り返ると大変もどかしい1年でありました。

当初はバチカンでも、公式行事も全て関係者のみでの開催となるなど、厳しいロックダウンが続いておりましたが、バチカンでは比較的早い段階でワクチンの接種も進み、今年6月29日の祝日には、コロナ以来初めて、外交団も出席してのミサが実施されました。当館の所在するローマにおいても、まだまだ予断のならない状況であるとはいえ、ソーシャルディスタンスや消毒の徹底など、新しいスタンダードを守りつつ、徐々に様々な活動が再開されつつあります。

近年、日本とバチカンの関係は、緊密化しています。こうした厳しい環境においても、バチカン所蔵図書のデジタル化事業や、日バチカンの交流に関わる史実の研究が進められていることについて、大変喜ばしく思います。

一昨年の11月に、教皇フランシスコ台下がローマ教皇として38年ぶりに日本を訪問され、長崎と広島から平和への強いメッセージを発されました。日本とバチカンはともに、国際平和、「核兵器のない世界」の実現、貧困撲滅、人権、環境等を重視するパートナーであり、日バチカン間の協力関係を一層強化していく余地はまだまだ大きいものと思っております。私としても引き続き、日バチカン関係の更なる発展に尽力していく所存です。

来年2022年にはいよいよ、日バチカン国交樹立80周年を迎えます。1942年の国交樹立以来、長きにわたり培われてきた日バチカン関係を更に強化し、また発展させるためにも、80周年に相応しい、日バチカン関係の相互理解に資するような企画、双方の交流を象徴するような企画を考えていきたいと思っております。様々な機会を通して、皆様にお目にかかれまことを楽しみにしております。

どうぞよろしく願いいたします。

令和3年8月31日
駐バチカン日本国特命全権大使
岡田誠司